

センター試験(本試)2002 解説

第1問

問1 a. ② 13族 B Al Ga In Tl.

(cf. 化学のと無機 p53 原子表の語呂あわせ)

同族の口頭を覚えていれば一発ですね。

b. ③ O₂ と F₂

空気の平均分子量

$$\bar{M} = 28.8$$

(cf. 無機 p47)

これと原子量の Data Bank を覚えてればすぐですね。

c. ④ SiO₂

共有結合による結晶

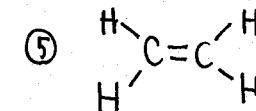


(cf. 理論 p7)

d. ② イソ-1レ

それ以外の物質は 対称性をもつ物質なので
無極性分子です。

① O=C=O ② CH₃-CH₂
 |
 OH



問2. ②

8	9	10
O	F	Ne
11	12	
Na	Mg	

のように周期上に並びます。

a. O²⁻, Mg²⁺ \Rightarrow Ne型 K(2)L(8) ∴ 正

b. 希ガスは反応性に乏しいですね。 ∴ 誤

c. 電気陰性度は

右上が大

* 希ガスは電気陰性度は定義されない

したがて、OやFの方か NaやMgよりも大きいです。 ∴ 誤

問3. (Fe + 2HCl \rightarrow FeCl₂ + H₂↑)

飽和蒸気圧を P_w, 全圧を P とすると

分圧 P - P_w

$$(P - P_w)V = \frac{w}{2}RT$$

$$\therefore w = \frac{2(P - P_w)V}{RT} \quad ②$$

第2問

問1 ヘンリイの法則

(cf. 理論 p18)

一定温度において、溶解する気体の

① mol 数は気体の圧に比例する

② 体積は 気体の分圧に無関係である

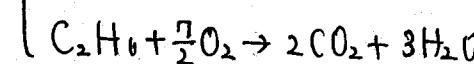
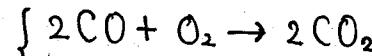
$$a. \text{ point } ① \text{ より } (\text{物質量}) = k(\text{圧力}) \rightarrow ③$$

$$\frac{y}{x}$$

$$b. \text{ point } ② \text{ より } (\text{物質量}) = \text{一定} \rightarrow ④$$

$$\frac{y}{y}$$

問2



$$c. \text{ CO} \sim x \text{ mol}, \text{ C}_2\text{H}_6 \sim y \text{ mol} \text{ とする},$$

$$\begin{cases} x+2y = 0.045 \\ 3y = 0.030 \end{cases}$$

$$\therefore x = 0.025, y = 0.01 \rightarrow ④$$

問3 cf. 理論 p14.

$$a. Q = mc\Delta t$$

$$\Leftrightarrow t = \frac{Q}{mc} \propto \frac{1}{c}$$

したがって、比熱が大きい程、温度は上昇しにくい。 ∴ 正

b. B → C : 液体の升 ∴ 誤

$$c. \frac{6.0[\text{kJ}/\text{h}] \times (6-3)[\text{h}]}{0.10[\text{mol}]} = 180[\text{kJ/mol}] \quad \therefore \text{正}$$

(答) ③

問4

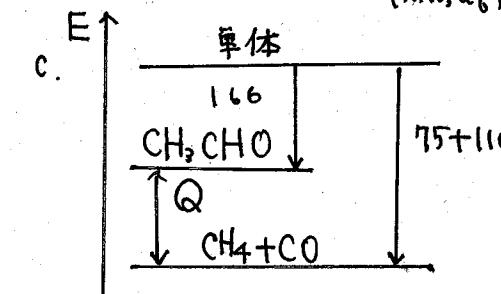
a.	KNO ₃	H ₂ O	KNO ₃ aq
80°C	100	100	200
27°C	100-x	100	200-x
27°C	40	100	140

$$\therefore (100-x)100 = 40 \times 100 \quad \therefore x = 60 \text{ g} \quad ③$$

b. 濃度変換(%) ⇔ mol/l
→ 1l 取てくよ！

$$12.0 \text{ g} \times \frac{1000 \text{ ml}}{10.0 \text{ ml}} \times \frac{40}{140} \uparrow \times \frac{1}{101} \div 3.4 \text{ mol/l} \quad ⑤$$

↑ 9/10 KNO₃ g/l ↑ mole/l
(KNO₃ aq)



$$\therefore Q = (75 + 110) - 166 = 19 \text{ kJ} \quad ④$$

第3問

問1. $X = M + 3 \times 80 = M + 240$

$$Y = 2M + 3 \times 16 = 2(X - 240) + 48 = \cancel{2X - 432} \quad \textcircled{4}$$

問2. $[H^+] = C\alpha$

$$= 1.0 \times 10^{-3} \times 0.15$$

$$= 1.5 \times 10^{-4}$$

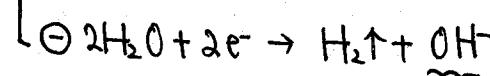
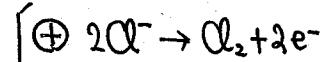
$$\therefore pH = 4 - \log 1.5 = 3.82 \rightarrow \textcircled{3} 3.8$$

問3. 「中性の塩 \Leftrightarrow 強酸と強塩基の正塩」

であるが、中性: $NaCl$, $NaNO_3$,

それ以外の塩の CH_3COONa (塩基性), NH_4Cl (酸性)
が答え。 $\textcircled{5}$

問4. cf. 無機 p3.



\uparrow
 $\therefore OH^-$ と Na^+ が合体して $NaOH$

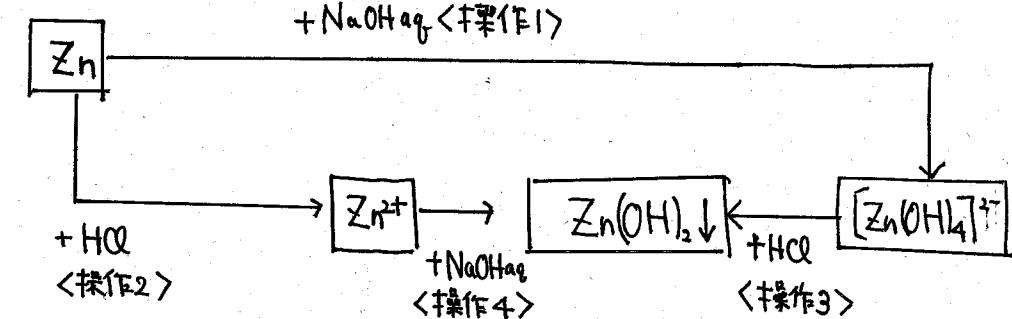
$\therefore a: Cl_2$ b. Na^+ , c. OH^- $\textcircled{6}$

問5. KOH ($M=56$) $\approx x \text{ mol}$ とする。

$$x = 2 \times 2.5 \times \frac{10}{1000} = 5.0 \times 10^{-2} \text{ mol/l}$$

$$\therefore \frac{5.0 \times 10^{-2} \times 56}{10g} \times 100 = 28\% \quad \textcircled{3}$$

問6. cf. 無機 p17.



a. <操作1><操作2> とに H_2 が発生します。

兩性元素
Zn Al Si Pb

酸に塩基にも溶けて H_2 発生 $\textcircled{2}$

b. 図のとおり。 $\therefore \textcircled{4}$

(注) 操作4で H_2S は不適です。何故なら Zn , Fe , Ni は 塩基性で H_2S に上て沈殿を生じるからです。

第4問

問1. ①, ③

① 不動態形成
Al, Fe, Ni

— 誤

② Cf 理論 p38 トタンの屋根のことですね。

③ 1円はアルミニウムです。したがて、アルミニウムの方が鉄より軽い(密度が小さい)ですね。

④ ~ ⑥ Cf 無機 p19.

* ⑤は迷うかもしませんか、①と③が誤りなので正解ですね。

問2.

$$K_w = [\text{OH}^-][\text{H}^+]$$

$$\Leftrightarrow [\text{OH}^-] = \frac{K_w}{[\text{H}^+]}$$

ですから、 $[\text{H}^+]$ において $[\text{OH}^-]$ は変換します。— 誤

f. $[\text{NH}_3] = 0.10 \text{ mol/l}$ 1lと過不足なく反応する 1l の

硝酸は 0.10 mol/l ですね。— 誤

c. $\text{Ca}(\text{OH})_2$ は 2 価の強塩基ですね。

Cf 無機 p7.

問3. Cf 無機 p23, 24

★ 14族 C Si Ge Sn Pb
範半半良

a. 誤 b. 14族である。正 c. すべて14族です。正

⑤

問4.

★ 酸化還元反応を判別する方法

の裏体を含む反応は酸化反応

② 中和、次段階イオン形成反応は酸化反応でない。

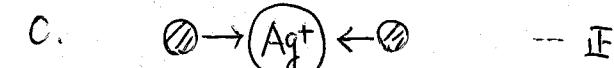
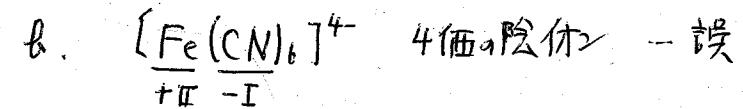
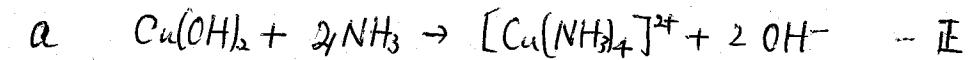
③ 不明なときは酸化数を調べよ。

ホント②より ①~④の反応は酸化還元反応でない。

勿論⑤は酸化還元反応である。

⑤

問5 Cf 無機 p43



(Ag: 配位子)

⑤

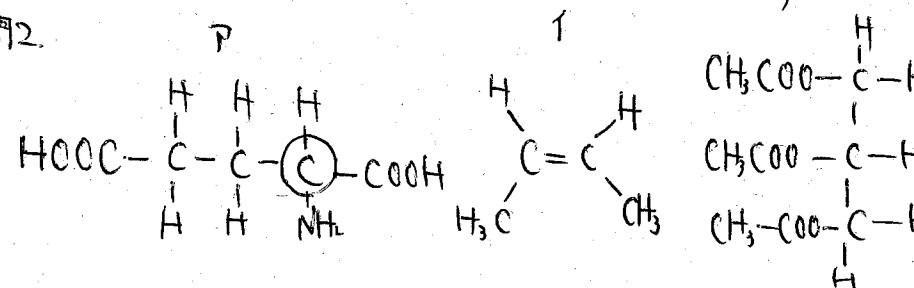
第5問

問1. Cf 有機 p3

- a. 付加重合です。 -誤
- b. 置換反応より付加反応の方が競争的です。 -正
- c. フターリング反応はアルテヒドです。 -誤
- d. $R_2HC=CR_1H + H_2O \rightarrow R_2CH_2-\overset{OH}{C}HR_1$ -正
- e. 付加反応起こします -誤

④

問2.



問 a. I-TeIについての記述。

b. アルカリ金属についての記述。
(~~ナトリウム~~ Na)

c. フェノールは弱酸性 ⇌ エタノールは中性

⑦

問6

$$\frac{42}{M} \times \frac{1}{2} = 0.25 \quad \therefore M=84$$

$$\Delta T = \frac{88-84}{2} = 2 \quad (\because M=88 \text{ ハニカム})$$

LT=+7.

$$\frac{21g}{84} \times 2 \times 22.4l = 11.2l \rightarrow \textcircled{3}$$

ROH 2mol ↑ H₂O 1mol ↑ H₂O 1mol ↑ 体積

⑥

問3.

- ① 1,2-シクロエタンです。誤

問4.

- a. $\begin{array}{c} \text{CH}_3-\text{CH}-\text{CH}_3 \\ | \quad \backslash \\ \text{CH}_3-\text{OH} \end{array}$ -正
- ヨードホルム陽性
- b. 单糖類は還元性を示します。 -誤

- c. 2-LV-IL
-
- 呈色します。 正

③